

総務委員会資料

平成27年8月27日

議案第132号

(仮称)川崎市南部学校給食センター整備等事業の契約の
締結について

教育委員会

■ (仮称) 川崎市南部学校給食センター整備等事業 事業概要

1 事業概要

- (1) 事業名 (仮称) 川崎市南部学校給食センター整備等事業
- (2) 建設予定地 川崎市幸区南幸町3丁目149番2
- (3) 敷地面積 8,704.60㎡
- (4) 供給能力 15,000食/日 (うちアレルギー対応食150食/日)
- (5) 主な諸室 給食エリア
(荷受・検収室、下処理室、洗浄室、上処理室、煮炊き調理室、焼物・揚物室、和え物室、アレルギー対応調理室、炊飯室、コンテナ室等)
事務エリア
(市職員用事務室、事業者用事務室、更衣室、運転手控え室、会議室、見学通路等)
- (6) 配送対象中学校 大師、南大師、川中島、桜本、臨港、田島、京町、渡田、富士見、川崎、川崎高校附属、南河原、御幸、塚越、南加瀬、橘、東高津、宮崎、有馬、宮前平、向丘、菅生(22校)
- (7) 事業方式 民間事業者が本施設の設計及び建設を行った後、市に本施設の所有権を移転し、事業期間の終了までの間、本施設の維持管理及び運営を行うBTO(Build Transfer Operate)方式
- (8) 事業期間 契約締結日(平成27年10月中旬予定)から平成44年3月まで

2 民間事業者の選定

本事業を実施する民間事業者の選定にあたっては、施設の設計、建設、運営及び維持管理等に関する専門的な知識や技術、ノウハウが求められるため、総合評価一般競争入札方式を採用して、入札価格のほか、設計、建設、運営、維持管理等に関する提案内容を総合的に評価しました。

学識経験者等から構成される川崎市学校給食センター整備等事業者選定審査委員会を設置し、同委員会とは、東洋食品を代表企業とするグループを最優秀提案者として選定しました。

【川崎市学校給食センター整備等事業者選定審査委員会 委員構成】

- 委員長 安登 利幸 (亜細亜大学大学院 国際経営戦略研究科 委員長)
- 委員 稲生 信男 (東洋大学 国際地域学部 教授)
- 委員 真鍋 雅史 (嘉悦大学 ビジネス創造学部 准教授)
- 委員 田中 延子 (淑徳大学 看護栄養学部 客員教授)
- 委員 林立也 (千葉大学 大学院工学研究科 准教授) ※1
- 委員 丹野 典和 (川崎市教育委員会 教育環境整備推進室長)
- 委員 佐藤 裕之 (川崎市教育委員会 総務部教育改革推進担当部長) ※2

※1 湯澤 正信委員(関東学院大学建築・環境学部学部長教授)の逝去に伴い平成27年3月18日より委員に就任

※2 芹澤 成司委員(学校教育部長)の事務分担変更に伴い平成27年3月10日より就任した小田嶋 満委員(総務部教育改革推進担当部長)の人事異動に伴い、平成27年4月7日より委員に就任

3 事業スケジュール

- 平成25年11月26日 川崎市立中学校給食の基本方針
- 平成26年10月28日 川崎市立中学校完全給食実施方針
- 平成26年11月7日 (仮称)川崎市南部学校給食センター整備等事業実施方針
- 平成26年11月25日 要求水準書(案)公表
- 平成26年11月27日 第1回川崎市学校給食センター整備等事業者選定審査委員会(実施方針(案)、要求水準書(案))
- 平成26年12月17日 中学校給食施設整備事業費 債務負担行為設定
- 平成27年1月20日 川崎市立中学校完全給食実施方針(修正版)
(仮称)川崎市南部学校給食センター整備等事業実施方針(修正版)
- 平成27年2月2日 第2回川崎市学校給食センター整備等事業者選定審査委員会(入札説明書等(案))
- 平成27年2月12日 特定事業の選定
- 平成27年2月25日 入札公告
- 平成27年3月30日 参加表明の受付
- 平成27年5月18日 第3回川崎市学校給食センター整備等事業者選定審査委員会(審査の進め方等)
- 平成27年5月29日 入札提出書類の受付
- 平成27年6月29日 第4回川崎市学校給食センター整備等事業者選定審査委員会(事業者ヒアリング、最優秀提案者の選定)
- 平成27年7月1日 落札者の決定及び公表
- 平成27年7月9日 基本協定書締結
- 平成27年8月7日 仮契約書締結

4 今後の予定

- 平成27年10月中旬 契約議決
- 平成27年10月～ 設計・建設
- 平成29年6月頃～ 開業準備
- 平成29年9月～ 完全給食実施

【参考】(仮称)川崎市中部・北部学校給食センター整備等事業 今後の予定

	中部	北部
落札者決定及び公表	平成27年9月上旬	平成27年9月上旬
契約議決	平成27年12月下旬	平成27年12月下旬
設計・建設	平成27年12月～	平成27年12月～
開業準備	平成29年9月頃～	平成29年9月頃～
完全給食実施	平成29年12月～	平成29年12月～

■ (仮称) 川崎市南部学校給食センター用地 位置図



■ (仮称) 川崎市南部学校給食センター外観及び内観透視図

【鳥瞰図】



【エントランス外観】



【環境学習テラス】



【食育学習のみち】



※図面は提案資料として提出されたものであり、実際の建築イメージとは異なる場合があります。

川崎市立中学校完全給食実施に向けた取組について

川崎市立中学校給食の基本方針(平成25年11月26日決定)

- 1 早期に中学校完全給食を実施します。
- 2 学校給食を活用した、さらなる食育の充実を図ります。
- 3 安全・安心な給食を提供します。
- 4 温かい給食を全校で提供します。



●上記「基本方針」に基づき、児童生徒及び保護者の皆様にはアンケート調査等へのご協力もいただきながら、安全・安心で温かい中学校完全給食の早期全校実施に向けた検討を進め、平成26年10月に「中学校完全給食実施方針」を決定いたしました。

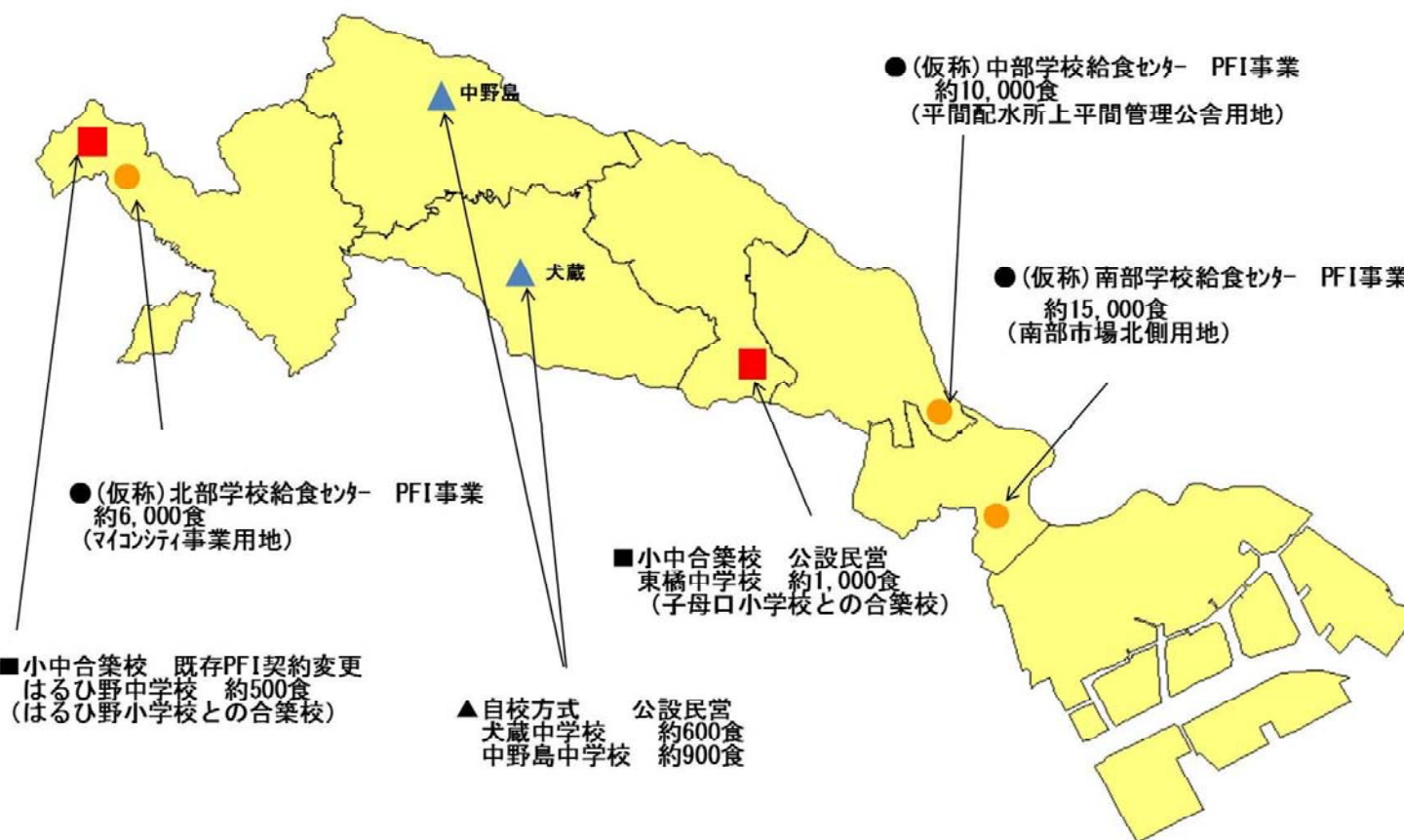
●その後、PFI法に基づく、学校給食センターの整備手続の中で、事業者から、昨今の建設需要のひっ迫、建設人材・建設資材の不足等の状況から、事業スケジュールの見直しについて数多くの意見・提案をいただき、本市としても、中学校完全給食の早期全校実施をより確実に実現可能とするため、学校給食センター整備スケジュールについて見直しを行い、平成27年1月に「中学校完全給食実施方針(修正版)」を公表いたしました。

川崎市立中学校完全給食実施方針(平成26年10月28日決定、平成27年1月20日修正)の概要

- 1 学校給食を活用した食育の推進
- 2 全員喫食を原則
食物アレルギーを有する生徒へは、原材料等の詳細な情報提供や、医師の診断に基づく特定原材料7品目(卵、小麦、そば、落花生、乳、えび、かに)の除去等の対応
- 3 (公財)川崎市学校給食会を活用し、安全・安心・良質な食材を確保。地産地消に配慮
- 4 セパレート型の食器を使用(食缶から盛付け)。箸等については各家庭から持参
- 5 学校給食センターを3か所設置
小学校との合築校(東橋中学校・はるひ野中学校)については、合築校舎内の調理場を活用
犬蔵中学校・中野島中学校については、敷地内に調理場を設置
- 6 平成28年度中に一部の学校において、平成29年度中には全校において(※修正)完全給食を実施
- 7 給食費は、今後、献立の内容と併せ決定

●今後は、下記スケジュールに基づき、中学校完全給食の早期実施に向けた取組を着実に推進してまいります。

		26年度	27年度	28年度	29年度
センター方式	南部	事業者公募等	基本・実施設計	給食センター新設工事	開業準備 平成29年9月～ 完全給食の実施
	中部・北部	事業者公募等	基本・実施設計	給食センター新設工事	開業準備 平成29年12月～ 完全給食の実施
自校方式	中野島中 犬蔵中	基本設計	実施設計	給食室増築工事	平成29年1月～ 完全給食の実施
小中合築校	東橋中	校舎改築工事	準備期間	平成28年1月～ 試行実施 試行額 1食290円	平成29年1月～ 完全給食の実施
	はるひ野中		改修設計	給食室工事	平成29年1月～ 完全給食の実施



学校給食センターの主な諸室・機能(3センター共通)

検収室、前室、納米室、炊飯室、炊飯盛付室、ボイラー室、野菜上処理室、野菜下処理室、食品庫、泥落とし室、魚肉下処理室、調理室、和え物室、アレルギー食専用調理室、配送前室、洗浄室、残菜処理室、回収前室、コンテナ室、備品庫、事務室等

学校給食センター	配送予定の中学校
(仮称)南部学校給食センター 幸区南幸町3丁目149番2 調理能力:約15,000食/日	22校 大師、南大師、川中島、桜本、臨港、田島、京町、渡田、富士見、川崎、川崎高校附属、南河原、御幸、塚越、南加瀬、橘、東高津、宮崎、有馬、宮前平、向丘、菅生
(仮称)中部学校給食センター 中原区上平間1700番8他 調理能力:約10,000食/日	14校 日吉、平間、玉川、住吉、井田、今井、中原、宮内、西中原、高津、西高津、野川、平、稲田
(仮称)北部学校給食センター 麻生区栗木2丁目8番3 調理能力:約6,000食/日	12校 枅形、南菅、菅、生田、南生田、西生田、金程、長沢、麻生、柿生、王禅寺中央、白鳥